

委員会審査

各常任委員会及び都市集客施設建設調査特別委員会において、付託された議案などを審査しました。質疑・答弁の一部を掲載します。

総務教育常任委員会

質疑 光のページメントの評価は。
答弁 平成27年度はイルミネーションの範囲を拡大して実施した。集客人数は、交通量調査などの統計数値を活用し昨年度に比べ5万人増の35万人となった。イルミネーションの範囲を拡大し、回遊性を持たせたことにより、街中のさらなる活性化につながったものと考えている。
質疑 証明手数料条例の一部改正の内容は。
答弁 現在行っている、住民票の写し及び印鑑証明書のコンビニ交付に、税証明を追加するものである。追加する税証明は、所得証明及び所得課税証明、非課税証明の3件である。

市民経済常任委員会

質疑 クラインガルテンの利用実績は。
答弁 平成27年度は、日帰り入浴6万6,073人、宿泊者数4,071人で、各施設の利用者数は、ログハウス1,970人、屋内体育館2,176人、バーベキュー施設246人だった。また、農園の契約者数は、27年度末で23区画17人である。
質疑 プレミアム付商品券事業の実績と経済効果は。
答弁 プレミアム率30%で10万セット用意し、9万9,494セット、12億9,342万円の売り上げがあった。商品券取扱店は市内全域で2,217店だった。発行総額や販売額、商品券換金額から5億1,252万円の消費喚起効果が生じたと国からの見解が示された。



プレミアム付商品券の販売

保健福祉常任委員会

質疑 こども発達支援センターの職員を増員したことで、緊急の相談に対して、すぐに対応できるようになったのか。
答弁 本年度は心理士が2人増員されたため、相談待ちの状況は若干改善されている。体制整備や効率的な相談の受け方などを検討しながら、タイムリーな対応をしていきたい。
質疑 ドクターカー運行支援補助金の内容と稼働状況は。
答弁 高崎総合医療センターで運行するドクターカーの運転手3人分の人件費補助であり、平成27年度の全出場件数は282件、運行1日当たりの出動件数は1.16件である。

建設水道常任委員会

質疑 観音山公園整備の進捗状況と詳細設計の内容は。
答弁 平成27年度は、一部開園した区域の造成工事や給排水設備工事、エントランス広場、ケルナー広場の整備等を行った。また、詳細設計の内容は観音山公園一部開園に伴い、管理棟及びプールの設置位置などの修正設計と第6期公園整備の詳細設計である。
質疑 烏川橋改築工事（上部工）の進捗状況と完成までの工事内容や期間は。
答弁 本年度は上部工を施工し、平成29年度に橋の高欄、照明設備、仕上げの舗装工事を予定し、29年度冬期前の完成を目指している。



完成が待たれる烏川橋

都市集客施設建設調査特別委員会

質疑 新体育館建設工事の契約金額増額の内訳は。
答弁 施設の省エネルギー化、ランニングコストの抑制などで約2億8,000万円、500項目の細部にわたる軽微な増減に約1億2,000万円、交通誘導員や列車見張員の費用として約7,000万円を増額するものである。
質疑 城南運動場の立体駐車場の出入り口は、今後どうなる予定か。
答弁 入り口については、入場車両の誤進入を防ぐ目的から、北側の東二条線に面した1か所とし、駐車場内において駐車券の交付ゲートを2か所設ける予定である。また、出口ゲートについては、3か所計画している。

さらに詳しい内容は会議録で

本会議や委員会の内容を記録した会議録は、市議会ホームページ（会議録検索）や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。今回の本会議については11月下旬に公開予定です。

- ・市民情報センター（市役所1階）
- ・高崎市立図書館
- ・倉淵公民館図書室



同意した人事案件

- ・教育長 飯野 眞幸氏
- ・教育委員会委員 竹内 一普氏
- ・高崎市等公平委員会委員 横田 貞一氏
- ・固定資産評価審査委員会委員 戸枝 太幹氏
- ・人権擁護委員候補者 滝沢 信子氏
- ・ // 佐藤 瑞恵氏

議案等審議結果

件名	結果	件名	結果
報告		条例の一部改正議案	
専決処分	報告	証明手数料条例	可決(多数)
平成27年度決算議案		市立高等学校入学科等徴収条例	可決
一般会計及び特別会計	認定(多数)	産業創造館設置及び管理に関する条例	可決
水道事業会計及び公共下水道事業会計	可決及び認定	地区計画区域内建築物の制限に関する条例	可決
平成28年度補正予算議案		都市計画事業倉賀野西土地区画整理事業施行規程	可決
一般会計(第4号)(第5号)	可決	その他の議案	
介護保険特別会計(第1号)	可決	市道路線の廃止	可決
牛伏ドリームセンター事業特別会計(第1号)	可決	市道路線の認定	可決
水道事業会計(第1号)	可決	市の区域内の字の区域の廃止	可決
公共下水道事業会計(第1号)	可決	公の施設(高崎アリーナ)の指定管理者の指定	可決
契約関係議案		公の施設(公共下水道)の利用に関する藤岡市との協議	可決
請負契約の変更(新体育館建設工事)	可決(多数)	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議	可決
請負契約の変更(城南運動場立体駐車場建設工事)	可決	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分に関する協議	可決
請負契約締結(高南中学校校舎改築工事)	可決	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合の共同処理する事務の変更に伴う事務承継に関する協議	可決
請負契約締結(高南中学校校舎改築電気設備工事)	可決	公立大学法人高崎経済大学中期目標を定めること	可決
請負契約締結(烏川橋改築工事(上部工))	可決	人事関係議案	
請負契約締結(高崎文化芸術センター(仮称)舞台照明・音響設備工事)	可決	教育委員会教育長の任命	同意
土地取得の変更	可決	教育委員会委員の任命	同意
財産の取得(中型バス)	可決	高崎市等公平委員会委員の選任	同意
条例の制定・廃止議案		固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
臨海学校条例の廃止	可決	人権擁護委員候補者の推薦(2件)	同意
林間学校条例の制定	可決		
緊急耐震対策条例の制定	可決		

※(多数)表記は起立採決、他の議案は簡易採決(可決、認定、同意に異議がないか確認)



パタハラ防止
 三島久美子
 (無所属)



質問 女性の活躍推進を阻む要因の一つと考えられるパタハラ防止対策は。
答弁 本市では、本年度男性職員が育休を取得し、取得する職員と促す職員の両者に、意識改革が進んだと感じている。今後、男性の育休取得率の向上のため、パタハラを積極的な防止策を図り、環境整備に努めたい。また、企業向けの研修会でパタハラメニューを取り入れるなど、企業への周知を図っていく。
質問 公共施設における音声誘導装置の設置状況は。
答弁 本庁舎及び総合福祉センターには、白杖装着センサーや小型送信機付きの音声誘導装置がある。また、総合保健センターや群馬福祉会館では、入り口等での音声案内をしているが、各支所や公民館、文化施設等では未整備である。
質問 アクティブ・ラーニングを本市の教育方針の重要な柱に位置付け、積極的に展開していくべきだが、教育長の考えは。
答弁 アクティブ・ラーニングは今回の学習指導要領改訂の柱になっている。子どもたちに積極的に発言させ、考えさせ、活気あふれる授業形態をつくり、自ら調べ、発表することを通じ、本当の学びを習得してほしい。



●パタニティ・ハラメント(パタハラ)
 ●アクティブ・ラーニング

男性が育児休業や育児休暇取得などで嫌がらせを受けること。パタニティとは父性を意味する。講義形式ではなく、課題研究やディスカッション、プレゼンテーションなど、学生の能動的な学習を取り込んだ授業のこと。